

3月議会定例会

令和2年度一般会計当初予算は
総額34億3千万円
(前年度比3.7%増)

令和2年度3月議会定例会が、3月4日から13日までの8日間にわたり開催され、条例の制定や一部改正、町有財産の無償貸付、令和2年度各会計当初予算案等45議案が提案され、いずれも可決されました。

令和2年度一般会計当初予算の総額は34億3千万円で、令和5年度の開校に向けた義務教育施設整備事業として校舎等増築工事費用を計上したことにより、前年度より1億2100万円増の予算となっています。



行政報告

◆新年度予算について

本町の令和2年度当初予算については、国の動向を踏まえ、「藤里町まちづくり計画(後期計画)」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「藤里町過疎地域自立促進計画」を基本に据え、今後も続くことが危惧される厳しい財政事情の中、引き続き財政健全化に取り組み、限られた財源の中で創意工夫を凝らし、人口3,200人の行政規模を追求した効率的・効果的な施策・事業を実施することを目標に編成してきました。行政の更なる改善と、財政基盤の確立強化とともに、住民ニーズに対応した事業を進めて参る所存であります。

◆令和2年度産米生産の目安

昨年12月に、秋田県全体の生産の目安が示されていますが、藤里町においては、1月30日開催の町農業再生協議会臨時総会での決定を経まして、2月19日JA班長会議で、各農家の生産の目安が通知されています。

米の消費量減少に伴う需要量の見直しや、全国での県産米のシェア等が考慮され、秋田県の生産の目安は、生産数量405,000t、面積換算で70,680haとなりました。

これを受けまして、藤里町の生産の数量目安は、前年より11t減の2,276t、面積換算で2,01減の416,85haとなりました。

そして、これに基づきまして、各農家への令和2年度産米の目安は、昨年と同様に水田を耕作している全農家を対象に同率で算定することとし、その目安を方針作成者であるJAと町農業再生協議会の連名で通知したところです。

前年より11t減少した生産数量については、方針作成者であるJAで、国からの各種交付金を見据え、営農計画の取りまとめを行うこととしています。

町ではこれを踏まえ、各農家や水利組合を対象とした、町独自の支援策を、今年度と同様に令和2年度当初予算案に盛り込んでいきます。

◆まち・ひと・しごと創生藤里町総合戦略の検証結果について

まち・ひと・しごと創生藤里町総合戦略については平成28年度に検証委員会を立ち上げ、毎年検証してきました。令和元年度は1月8日に検証委員会を開催し、14の基本方針38プロジェクトの進捗状況を説明し、評価いただいたところです。結果としまして、A評価が1方針、B評価が10方針、C評価が2方針、D評価が1方針となりました。

◆能代市山本郡養護老人ホーム組合からの脱退について

昭和46年に、住居や経済面など多様な生活問題を抱えた高齢者が入所する施設の必要性から設立されました同組合は、現在、本町をはじめ、能代市、三種町、八峰町の1市3町で構成し、養護老人ホームやまもとを運営する一部事務組合であります。

高齢化社会の波が押し寄せると同時に、各地域において、高齢者福祉施設も次第に数を増し、高齢者のケアや自立支援に務めているところです。

このような状況を踏まえ、本町と同組合の在り方や関わり方につきましては、正副管理者会議等で協議を重ねた末に、同組合議員協議会において、本町と入所者数の少ない能代市とが、令和3年